

Web Content Accessibility Guidelines 2.2

W3C Recommendation 05 October 2023 版

2023年10月版

株式会社インフォ・クリエイツ

本資料は更新前の情報を参照して作成しています。勧告版との比較を行い可能な限りアップデートしていますが、抜け・誤りがある場合はお知らせください。速やかに更新させていただきます。

- WCAG 2.2 について p.3
- WCAG 2.2 一覧表 (レベルA & AA) p.4
- WCAG 2.2 追加・削除達成基準別説明 p.5 – p.14
- WCAG 2.2 変更点一覧 p.15
- 参考:ウェブアクセシビリティとは p.16
- 参考:ガイドラインの歴史 p.17

WCAG 2.2 について

- WCAG 2.1 と比べ、9つの達成基準が新規に追加、1つの達成基準が削除予定

	WCAG 2.0	WCAG 2.1	WCAG 2.2
レベルA	25	(+5) 30	(+2,-1) 31
レベルAA	13	(+7) 20	(+4) 24
レベルAAA	23	(+5) 28	(+3) 31
合計	61	78	86

- フォーカス、ドラッグ操作、ターゲットサイズ、ヘルプ、入力、認証等に対する基準が新規追加
- 4.1.1 構文解析は削除
4.1.1は支援技術がHTMLを直接解析する際の問題に対処するために採用された。現在、支援技術がHTMLを直接解析する必要はなく、ここで指摘する問題は存在しないか、他の基準で対処されている。よって、この基準はもはや有用性がないとし削除された。

入力フォームやボタンなど操作および認証に関する基準は、利用者が入力に困難を覚え離脱してしまうことを防ぎます。利用頻度の高い実装技術であり、WCAG 2.2 への積極対応で、お客様のユーザー体験はより良いものになります。

WCAG 2.2 一覧表 (レベルA&AA)

1 知覚可能 (Perceivable)

1.1 テキストによる代替	
1.1.1 非テキストコンテンツ	A
1.2 時間依存メディア	
1.2.1 音声のみ及び映像のみ (収録済)	A
1.2.2 キャプション (収録済)	A
1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替 (収録済)	A
1.2.4 キャプション (ライブ)	AA
1.2.5 音声解説 (収録済)	AA
1.3 適応可能	
1.3.1 情報及び関係性	A
1.3.2 意味のある順序	A
1.3.3 感覚的な特徴	A
1.3.4 表示の向き	AA
1.3.5 入力目的の特定	AA
1.4 適応可能	
1.4.1 色の使用	A
1.4.2 音声の制御	A
1.4.3 コントラスト (最低限)	AA
1.4.4 テキストのサイズ変更	AA
1.4.5 文字画像	AA
1.4.10 リフロー	AA
1.4.11 非テキストコンテンツのコントラスト	AA
1.4.12 テキストの間隔	AA
1.4.13 ホバー又はフォーカスで表示されるコンテンツ	AA

2 操作可能 (Operable)

2.1 キーボード操作可能	
2.1.1 キーボード	A
2.1.2 キーボードトラップなし	A
2.1.4 文字キーのショートカット	A
2.2 十分な時間	
2.2.1 タイミング調整可能	A
2.2.2 一時停止、停止、非表示	A
2.3 発作と身体的反応	
2.3.1 3回の閃光、又は閾値以下	A
2.4 ナビゲーション可能	
2.4.1 ブロックスキップ	A
2.4.2 ページタイトル	A
2.4.3 フォーカス順序	A
2.4.4 リンクの目的 (コンテキスト内)	A
2.4.5 複数の手段	AA
2.4.6 見出し及びラベル	AA
2.4.7 フォーカスの可視化	AA
2.4.11 隠されないフォーカス (最低限)	AA
2.5 入力モダリティ	
2.5.1 ポインタのジェスチャ	A
2.5.2 ポインタのキャンセル	A
2.5.3 名前 (name) のラベル	A
2.5.4 動きによる起動	A
2.5.7 ドラッグ操作	AA
2.5.8 ターゲットサイズ (最低限)	AA

3 理解可能 (Understandable)

3.1 読みやすさ	
3.1.1 ページの言語	A
3.1.2 一部分の言語	AA
3.2 予測可能	
3.2.1 フォーカス時	A
3.2.2 入力時	A
3.2.3 一貫したナビゲーション	AA
3.2.4 一貫した識別性	AA
3.2.6 一貫したヘルプ	A
3.3 入力支援	
3.3.1 エラーの特定	A
3.3.2 ラベル又は説明	A
3.3.3 エラー修正の提案	AA
3.3.4 エラー回避 (法的、金融、データ)	AA
3.3.7 冗長な入力	A
3.3.8 アクセシブルな認証 (最低限)	AA

4 堅ろう性 (Robust)

4.1 互換性	
4.1.1 構文解析	A
4.1.2 名前 (name) 役割 (role) 及び値 (value)	A
4.1.3 ステータスメッセージ	AA

白背景 2.0
 水色背景 2.1
 黄色背景 2.2

4.1.1は2.2において削除

WCAG 2.2 追加・削除される達成基準別

新規追加

2.4 ナビゲーション可能

- 2.4.11 隠されないフォーカス (最低限) AA
- 2.4.12 隠されないフォーカス (拡張) AAA
- 2.4.13 フォーカスの見た目 AAA

2.5 入力モダリティ

- 2.5.7 ドラッグ操作 AA
- 2.5.8 ターゲットサイズ (最低限) AA

3.2 予測変換

- 3.2.6 一貫したヘルプ A

3.3 入力支援

- 3.3.7 冗長な入力 A
- 3.3.8 アクセシブルな認証 (最低限) AA
- 3.3.9 アクセシブルな認証 (拡張) AAA

削除

- 4.1.1 構文解析は削除

操作可能

理解可能

堅牢

2.4.11 隠されないフォーカス（最低限）

When a user interface component receives keyboard focus, the component is not entirely hidden due to author-created content. (AA)

<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/focus-not-obscured-minimum>

【和訳】

ユーザーインターフェースコンポーネントにキーボードフォーカスが当たっているとき、他のコンテンツによりコンポーネントが完全に隠されることがない。

【説明】

キーボードで操作する利用者にとって、現在のフォーカス位置を知ることは重要。フォーカス位置が分らないと、どこでスイッチを操作してよいか分からなくなる。ところが、Cookie使用同意など、追加表示によりフォーカスした要素が隠れて見えなくなることがある。

この達成基準では、どのような場合でもフォーカスの当たっている箇所が分かることを求めている。

一部でも見えていれば良い（2.4.12（AAA）では全て見えている必要あり）。

【事例】

- 常にフッターが下部に表示されている（ステッキーヘッダー）。タブキーで下部に移動し、フッターに隠れた部分に到達しそうなとき、その部分がスクロールしてすべて表示された。
- × チャットボットが表示された。タブキーを押してフォーカスを移動していき、丁度、そのダイアログの下にあるはずの箇所を見て操作したかったが、ダイアログにより隠されてしまっている。
- × クッキー使用同意がフッターエリアを隠してしまう。

2.5.7 ドラッグ操作 (AA)

All functionality that uses a dragging movement for operation can be achieved by a single pointer without dragging, unless dragging is essential or the functionality is determined by the user agent and not modified by the author.

<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/dragging-movements>

【和訳】

ドラッグ操作を使う機能は、ドラッグが不可欠な場合や、ユーザーエージェントが決定し、作者が変更しない場合を除き、ドラッグせずにシングルポイントで実現できる。

【説明】

ドラッグでしか操作できないのは不可。必ず、シングルポイントで操作できることを求めている。
(シングルポイントとは、タッチ、クリックなどの単一点の操作のこと)

【事例】

- リストの中のアイテムはドラッグで入れ替えるようになっている。
それに加えて、リストを選択したあとに上下矢印ボタンの操作で順番を入れ替えることもできた。

【ドラッグによる操作の例】

高い順に並べよう!	
1	手稲山
2	羊蹄山
3	富士山

1をタッチしてホールドする

高い順に並べよう!	
1	手稲山
3	富士山

ホールドしたままドラッグし3に移動させる

高い順に並べよう!	
1	富士山
2	羊蹄山
3	手稲山

3の位置で指を離すと1と3が入れ替わる

【シングルポイントでも操作できるようにする】

高い順に並べよう!	
1	手稲山 ▲
2	羊蹄山
3	富士山 ▼

1をタップする

高い順に並べよう!	
1	手稲山 ▲
2	羊蹄山
3	富士山 ▼

選択状態になる
▽がアクティブになる

高い順に並べよう!	
1	富士山 ▲
2	羊蹄山
3	手稲山 ▼

▽をタップすると下に移動する

The size of the target for pointer inputs is at least 24 by 24 CSS pixels, except where:

- **Spacing:** Undersized targets (those less than 24 by 24 CSS pixels) are positioned so that if a 24 CSS pixel diameter circle is centered on the bounding box of each, the circles do not intersect another target or the circle for another undersized target;
- **Equivalent:** The function can be achieved through a different control on the same page that meets this criterion;
- **Inline:** The target is in a sentence or its size is otherwise constrained by the line-height of non-target text;
- **User agent control:** The size of the target is determined by the user agent and is not modified by the author;
- **Essential:** A particular presentation of the target is essential or is legally required for the information being conveyed. <https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/target-size-minimum>

【和訳】

ポインターの入力対象の大きさは、24×24CSSピクセル以上

例外：

- Spacing: 隣接するすべてのコントロールから24CSSピクセル以上離れている場合
- Equivalent: 基準を満たす同じ機能を持つコントロールが同じページにある場合
- Inline: 文章やテキストのインラインにある場合
- User agent control: ユーザーエージェントのコントロールで作者によって修正されていない場合
- Essential: ターゲットの外観が必要不可欠、または伝えられる情報に対して法的に必要な場合

【説明】

手の震えがある方や細かい動きが苦手な方は、間違えて隣のコントロールを押してしまい、最初から操作し直すことになるかもしれません。そのような事が無いようにするための配慮事項です。

誰にとっても利益のある配慮です。揺れる車中で操作するとき、太陽の下で画面が見づらいとき、手袋をしているとき、怪我をして絆創膏を貼っているとき、そんな時にも役立ちます

【事例】

w3cのページのサンプルをそのままコピーするのは憚られるので削除しました。
こちらに例示が沢山ありますので、こちらをご覧ください。

<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/target-size-minimum.html>

英語ですが、PASS(適合)、FAIL(不適合)と書いてありますので、分かり易いと思います。

注意点

インラインのリンクなどについては、行の高さが24px以下でも不適合になりませんが、箇条書きはインライン扱いにならないので、各行は24px以上必要になります。

3.2.6 一貫したヘルプ (A)

If a Web page contains any of the following help mechanisms, and those mechanisms are repeated on multiple Web pages within a set of Web pages, they occur in the same order relative to other page content, unless a change is initiated by the user:

- Human contact details;
- Human contact mechanism;
- Self-help option;
- A fully automated contact mechanism.

<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/consistent-help>

【和訳】

ウェブページが次の様なヘルプを含んでおり、一連のウェブページ中で繰り返されている場合、ユーザーによる変更がない限り、それらは同一の順序で提供される。

- | | |
|----------------|----------------------------------|
| • 連絡先の詳細 | 電話番号、メールアドレス、営業時間などの情報 |
| • 連絡手段 | メッセージングシステム、チャット、お問い合わせフォーム、SNS等 |
| • セルフヘルプオプション | Q&A等、使い方ページ、サポートページなど |
| • 完全自動化された連絡手段 | チャットボット等 |

【説明】

ユーザーがWebサイト上でタスクを完了するためのヘルプを見つけることができることを保証することが目的。ヘルプを探すのに苦労するようではヘルプの意味がない。

【事例】

- チャット機能が常にページの右下にあり、支援が必要な時にすぐ見つけられる。
- × ヘッダーに「お問い合わせ」「ヘルプ」のリンクがあるが、ページによって順番が違う。

Information previously entered by or provided to the user that is required to be entered again in the same process is either:

- ・ auto-populated, or
- ・ available for the user to select.

Except when:

- ・ re-entering the information is essential,
- ・ the information is required to ensure the security of the content, or
- ・ previously entered information is no longer valid.

<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/redundant-entry>

【和訳】

同じプロセス中、ユーザーが入力あるいは提供済みの情報を再入力する場合、次のどちらかが必要：

- ・ 自動入力される
- ・ ユーザーが選択可能

例外：

- ・ 再入力が必要な場合
- ・ コンテンツの安全性を確保するために必要な場合
- ・ 以前に入力した情報が無効である場合

【説明】

この達成基準の意図は、ユーザーが複数ステップのプロセスをうまく進めることができるようにすること。

各ステップにおいて、情報を複数回要求される場合、認知的な労力を軽減することができる。

前のステップで提供された情報を思い出す必要性も軽減される。

入力のために記憶の必要がある情報は、認知や記憶に障害のあるユーザーには障害となる。

この達成基準は**すべての利用者にとって**、ユーザー体験を向上させるものと言える。

(1ページ目)
誕生日を入力してください!

(2ページ目)
誕生日を入力してください!

え、また聞かれるの?

【事例】

- eコマースサイトで、事業者は請求先住所と配送先住所が同じであることを確認する必要があった。この時、ユーザーには住所を再入力させるのではなく、どちらが適切か選択出来るようになっていた。
- × 検索結果ページで、ユーザーは少し検索語を変えて、あるいはいくつか検索語を加えてさらに検索したいと考えた。この時、直前の検索語が、検索語の入力欄には何も転記されていないため、すべての検索語を一から入力する必要があった。

A cognitive function test (such as remembering a password or solving a puzzle) is not required for any step in an authentication process unless that step provides at least one of the following:

Alternative

Another authentication method that does not rely on a cognitive function test.

Mechanism

A mechanism is available to assist the user in completing the cognitive function test.

Object Recognition

The cognitive function test is to recognize objects.

Personal Content

The cognitive function test is to identify non-text content the user provided to the Web site.

<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/accessible-authentication>

【和訳】

認知機能テスト（パスワードを覚える、パズルを解くなど）は、認証プロセスのどのステップにおいても、そのステップが以下の少なくとも 1つを提供していない限り、要求されない。

代替

認知機能テストに依存しない別の認証方法。

メカニズム

ユーザが認知機能テストを完了することを支援するメカニズム。

オブジェクトの認識

物体を認識する認知機能テスト。

個人コンテンツ

ユーザがWebサイトに提供したテキスト以外のコンテンツを識別するテスト。（例えば個人の写真）

【説明】

パスワードを覚えること自体、認知障害を持つユーザーにとっては負荷となる。「信号機の写真を選択してください」のような認証は、レベルAAでは利用が許されるが、文化による違いがある場合もあり、注意が必要。

【事例】

- パスワードマネージャーによる入力支援がある
- 転写認知機能テストに対応するためのコピーアンドペーストがある
- × 「2番目と4番目にある数字を選択して入力してください」のような認知を必要とする設問がある

WCAG 2.2 変更点一覧

- WCAG 2.2 では WCAG 2.1 に9達成基準が追加。
- 「4.1.1 構文解析」は削除。WCAG2.0, WCAG2.1の取扱は未だ分からない点がある。
- 「2.4.7 フォーカスの可視化」は利用者に重要としてレベルAAからレベルAになる話もあったが、開発者から反対があったらしくそのままとなった。
- 「2.4.13 フォーカスインジケータのコントラスト比要件」がAAとして追加が検討されたが、最終的にはAAAになった。
- 「3.3.8 アクセシブルな認証」もレベルAとして追加が検討されたが、最終的にはレベルAAになった。
- 全般的に障害を持つユーザーだけでなく、ひろく一般に有益な達成基準が多い。

- W3C Recommendation – 2023/10/5
<https://www.w3.org/TR/WCAG22/>
- Understanding Docs（解説書）は 2023/10/05 バージョンが公開されている
<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Understanding/>
- Techniques についてW3Cが公式に変更状況を整理しているページはこちら。
What's New in WCAG 2.2
<https://www.w3.org/WAI/standards-guidelines/wcag/new-in-22/>
- Techniques の最新版は 2023/7/13 バージョンが公開されている
<https://www.w3.org/WAI/WCAG22/Techniques/>

参考：ウェブアクセシビリティとは

『ウェブアクセシビリティとは、高齢者や障害者を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく**利用できること**』

総務省 [「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2016年版）」](#) より

駅の階段には…



スロープがある
⇒ 車椅子利用者が通れる

街の歩道には…



点字ブロックがある
⇒ 白杖で安全に歩ける

ウェブサイトには…

ウェブサイトの
バリアフリー化



ウェブアクセシビリティに
配慮したページ作りが必要

参考：ガイドラインの歴史



- 1990年代後半
 - W3C、ウイスコンシン大学や企業で議論が始まる
- 1999年 WCAG 1.0
 - HTML ベース
- 2008年 WCAG 2.0
 - 特定技術に非依存
 - 項目の追加・削除・整理
 - 試験可能
- 2018年 WCAG 2.1
 - スマートフォン、配色、学習障害に配慮を追加
- 2023年8月予定 WCAG 2.2
 - 操作や認証に関する基準を追加

標準化の目的

- 少数化
- 単純化
- 秩序化

→ JIS日本産業規格

高齢者・障害者等配慮設計指針－情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス－第3部：ウェブコンテンツ **JIS X 8341-3:2016** (ISO/IEC 40500:2012)